



乳がんでも泳ぎ続けたい

業種 乳がん対応スポーツ水着製造
代表 深瀬 文子
住所 名古屋市中川区石場町



・事業者の概要

深瀬さんは神奈川出身。ご主人の転勤で現在は名古屋に在住。マリンスポーツが好きで乳がんを経験した後も、病気で好きなことを諦めたくない、諦めてほしくない思いで、乳がん対応水着を開発した。

・表面化している課題

開発した水着はスポーツに適したものとして、激しいスポーツにも耐久性が高い布地を採用し、何度も試着し徹底して品質にこだわった。その一方で販売に自身が前面に出ることには不安もあり、どうやって販路を求めていくべきか悩まれて相談に来所された。

深瀬さん（プレスリリースより）



・支援者の分析と判断

水着は11号と13号の2サイズ。ブランド名はミラノマイラとして発売した。まずは社会にこの商品のデビューを知らせる必要があると判断した。知られなければ存在していないと同じ。深瀬さん自身が前面に立って広告をしていくのは抵抗があったが、この商品は深瀬さんの思いがこもった商品であり、SNSでの告知やホームページなどの広告準備を一緒に整えていった。

・課題解決への提案

新発売もあり、発表イベントの開催を提案。発表会場を当センターとのかかわりが深いモナミ写真館さんへお声かけしたところ快諾をいただき、8月3日に発表イベントを開催することとした。

モデルはミキ・ジゼル・サトウさん



モナミ写真館での発表会



・実行内容

モナミ写真館にて発表会を開催。女性が困難を乗り越えて社会で立ち向かうとのテーマでパネルディスカッションも企画して、盛況な会となった。中日新聞の記者も取材に来ていただき、広報の効果も得られた。

・成果と今後の進め方

発表会当日から販売に繋がり、深瀬さん自身の自信も生まれた。

今後は自身での販売活動を積極的に進めてほしい



事業者さんの声

中日新聞に掲載されて、早速注文や問い合わせがありました。いろんな人に助けられてここまできました。

